

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2 月 21 日

事業所名 子育てサポートどんぐり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	・活動とスペースを考え場所を借りるように工夫しています	・活動のスペースを工夫しながら行う ・状況や遊びによっては場所を変えて行えるようにする
	2 職員の配置数は適切である	7		・全員が実践に入っているのでもうまくいっている	・職員の数だけでなく一人一人のスキルアップをしていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	6	・室内は構造化し、情報伝達もやっているが、入口は建物構造上階段である	・危ないなと思う場所は、危険を想定した配慮を実施していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	・通常住宅の作りのため冬場は床が冷たい	・絨毯等を用いながら、よりよく過ごせる空間をつくる
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・打ち合わせ、反省会、日々行っている	・時間等工夫しながら、職員がより参加しやすい環境に努める
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	・保護者と話しながら、意向を把握できるように努めている	・保護者の意見に真摯に向き合いながら改善へとつなげる
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	・今年度から実施する	・ホームページは今年度から活用していくので、より多くの方々に知ってもらいながら、事業所としての質をあげていく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	・外部評価とまではいかないが、法人内で、監査しながら改善へとつなげている	・外部評価を実施できるように努める
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・法人内部研修も行っている	・研修内容を職員間で振り返りながら情報を共有していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・職員全員で検討しながら、立案している	・引き続き、実施していく
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	・アセスメントシートを用いている	・現在使っているアセスメントツールだけでいいのか職員間で検討しながらよりよいツールをつくる
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	3	・職員全員で検討しながら、立案している ・具体的に設定されているかは不十分などところもある	・より具体的に設定できるように、職員間で検討を重ねる
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・情報を共有しながら、支援にあたっている	・今後も職員間で情報を共有しながら支援にあたる
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	・どのような活動であればよいか話ながら組み立てている	・意見が言いやすい環境をつくり皆でプログラムを立案する
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・季節にちなんだ活動計画、月案を立てている	・引き続き、実施していく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	2	・活動や集団によっては個別と集団を組み合わせることが難しいこともある	・子どもの課題をみつけ、その課題に対してどうだったらいいか、考えながら、よりよい計画へとつなげる
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	・新入園児の情報不明のため支援しづらいときもある	・アセスメントツールを用いながら、その子の情報を共有しながら支援にあたる
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・引き続き、実施していく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・引き続き、実施していく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		・時期が少し遅くなる場合がある	・定期的に行えるように、事前にお知らせしてお互いの都合を合わせながら取り組む	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・引き続き、実施していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	4	・研修にはいけてはいるが、連携とまではいえない	・情報等の交換、定期的な連携をはかれる場を設定する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	4	・連絡体制はできてはいるが連携とまではいえない	・情報等の交換、定期的な連携をはかれる場を設定する
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	3	・連絡体制は整えている	・情報等の交換、定期的な連携をはかれる場を設定する
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	・連携会議を実施している	・積極的に、連携会議を実施していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	・移行支援シートを活用している	・移行支援シートだけでなく、直接お話ができる場を設定する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	・研修には積極的に参加している	・研修に参加できなかった職員に対して、内容を報告して情報を共有していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	・設定はしていないが、公園に会って一緒に遊ぶ機会はある	・地域の公園、行事等で交流できる場をつくる
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	・お知らせがあれば、毎回1名は参加している	・積極的に、参加して、情報共有に努める
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	・送迎時で会える保護者の方とは話はできているが、会えない方は連絡帳での伝えあいになっている	・日頃から何気ないことを話しやすい職場の雰囲気をつくり、小さなことでも相談できる環境づくりに努める
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		7	・行っているところもあるが充分とはいえない部分がある	・専門的な支援になるので、支援を行える人材を育成する
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・引き続き、実施していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			・引き続き、実施していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・引き続き、実施していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	・親子行事を実施している ・開催回数としては少ない	・保護者に無理がないように、設定、支援に努める
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・引き続き、実施していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・毎月、会報を発信している	・引き続き、実施していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			・引き続き、実施していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	・配慮は行っているがそれが正しい配慮なのであろうかと考えてしまう	・どのような配慮であればいいのか、チームとして考える
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・子育てサポートどんぐりの行事ではできていない	・法人内で地域の方を含めた活動があるため、そこに参加しながら地域へと関わっていく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			・引き続き、実施していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・引き続き、実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			・引き続き、実施していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	・保護者からアレルギー等について書面にて記入して頂いている	・医師の指示所も確認しながら対応する
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・回覧という形で共有をはかっている	・回覧だけでなく、事例について皆で話合う機会を設定する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・虐待防止委員会をつくっている	・引き続き、実施していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	5	・具体的な記載はないが、職員への周知徹底は促している	・周知徹底はもちろんのことだが、具体的にも記載していく
